

重修本草綱目啓蒙 35卷

天保十五年（一八四四年）刊。小野蘭山の口授「本草紀聞」を整理した『本草綱目啓蒙』が享和三年（一八〇三年）に刊行。その『本草綱目啓蒙』の第三版が『重修本草綱目啓蒙』で、梯南洋が増訂。『本草綱目啓蒙』には次に掲げる「果之三夷果三十一種」が見あたらな
い。

「重修本草綱目啓蒙卷二十二果部」の「果之三夷果三十一種」の内に

海松子

朝鮮マツノミ カラマツノミ

一名位叱郷薬本草

樹一名新羅海松通雅

凡ソ松葉二針ナル者ハ常ナリコノ松ハ五針ナリ今俗ニ五葉マツト呼ブ者ハ赤松葉ノ形ニシテ五針ナリ海松ハ葉燈メマツノ

心草ノ大ニシテ背白シ朝鮮人來聘ノ時多クコノ松子ヲ齎
シ來ル名産ナリ形大ニシテ巴豆ノ如シ三稜上尖リ茶褐色
皮厚クシテ破リ難シ別ニ鐵器アリテ挾ミ按セハ破レ易シ
内ニ白仁アリ油多シ味山胡桃ノ如シ生食スベシ新ナル者
ハ種テ生シ易シ禪院ニ栽ユル者多シコノ松本邦ニモ自生
アレバ カラマツト訓ジ難シ信州戸隱山ニ多シ唐松郷ト
云地モアリ又越後出羽ニモ多シテ器材トス木理扁柏ヒノキニ似
タル故扁柏ニ代用ユコノ松卵長サ六七寸鱗甲モ大ナリ鱗
甲コトニ子二粒アリ時珍ノ説ノ中國松子大如柏子ト云ハ
尋常ノ松子ナリ鱗甲ゴトニ二粒アレトモ形小シテ米粒ノ
如ニシテ白斑アリ藥ニハ海松子尋常ノ松子俱ニ用ユ果
子ニハ海松子ヲ用ユ松子ハ一名萬年豆事物
異名鍊形子 不老丹

共同上

註 国立国会図書館デジタルコレクションの「重修本

草綱目啓蒙 35 卷. [22]」

(DOI 10.11501/2569375) の 13、14 コマ目。